



平成29年3月28日

各位

上場会社名 株式会社 ピックルスコーポレーション
 代表者 代表取締役社長 宮本 雅弘
 (コード番号 2925)
 問合せ先責任者 取締役経理財務部長 三品 徹
 (TEL 04-2998-7771)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成29年3月28日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績動向等を踏まえ、平成28年11月18日に公表した業績予想を修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	36,404	991	1,069	706	140.24
今回修正予想(B)	35,801	780	867	548	108.91
増減額(B-A)	△602	△210	△201	△157	
増減率(%)	△1.7	△21.2	△18.9	△22.3	
(ご参考)前期実績 (平成28年2月期)	30,152	931	975	692	139.35

平成29年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,359	811	560	111.34
今回修正予想(B)	25,578	659	458	91.11
増減額(B-A)	218	△152	△101	
増減率(%)	0.9	△18.8	△18.2	
(ご参考)前期実績 (平成28年2月期)	24,161	979	603	121.49

修正の理由

(連結)

売上高は、ほぼ計画通りに推移いたしました。

しかしながら、昨年秋の多雨や日照不足などの影響により、野菜の生育不良や生育遅れが継続いたしました。この結果、野菜の出荷量が減少し、野菜全般の価格高騰が継続いたしました。

この影響により、昨年12月以降も、当社グループの主要原料である白菜や胡瓜などの仕入価格が高止まりし、さらに、野菜の生育不良による歩留まり低下も継続し回復が遅れたことから、売上原価が予想より増加いたしました。そのため、業績予想の営業利益を確保することが困難となったことから、修正いたします。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、営業利益が減少したことにより、予想の利益を確保することが困難となったことから、修正いたします。

(個別)

個別業績につきましては、連結とほぼ同様の理由であります。

※上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以上